



## 2学期スタート!

長期休業が終了し、学校に子ども達の声が戻ってきました。子ども達の笑顔を見て、大きなけがや事故がなかったことにほっとしているところです。

今年の夏休み前半は、オリンピックでの日本選手の活躍に元気をいただき、後半は台風による災害に心を痛め、防災について考える日々でした。2学期も安全・安心な学校となるよう職員一同精一杯努めてまいります。特に、休業明けの子ども達の様子を心身共によく観察していきたいと思えます。何か気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

## 2学期 始業式



がっき しぎょうしき  
**2学期 始業式**

やさし こ  
**がんばれ 矢指っ子**

令和6年9月2日(月)

なつやす ちゅう  
**1 夏休み中のできごと**

なん ひ  
**2 9月1日は、何の日?**

がっき  
**3 さあ、2学期スタート!!**

たいかい  
**8月25日 PTAバレーボール大会**

おかあさんたちも がんばりました!



ゆうしょう  
**ブロック優勝**  
とうほう たいかい しゅうじょう  
**東総大会出場**

たいふう  
**台風**



じしん  
**地震**



つなみ  
**津波**



さいがい そな  
**災害に備えましょう!**

ひなん くんれん

### 避難訓練をしんげんに!



やさししょう  
**9月からの矢指小は・・・**

しゅくはくたいけんがくしゅう  
**宿泊体験学習**

こうがいがくしゅう  
**校外学習**

しんたいいしよく  
**新体力テスト**

おんがくかい  
**音楽会**

おきなわこうりゅう  
**沖縄交流**

げいじゅつかんしょうかい  
**芸術鑑賞会**

2学期初日の始業式、子ども達が体育館へ移動する態度や話を聞く姿勢が大変立派で感心しました。

始業式では3つのテーマで話をしました。まず、夏休みに開催されていたオリンピックでの印象に残った場面、旭市子ども議会での6年生の活躍、夢に向かって努力している本校卒業生がふるさと旭でコンサートを開いたこと、旭市PTAバレーボール大会で矢指小が優勝したこと、パリオリンピックでの日本人選手の活躍について話しました。

次に防災の日について話しました。驚いたことに9月1日がなぜ防災の日になったかという理由を低学年の児童が説明することができました。約100年前に起こった「関東大震災」についてもふれ、避難訓練に真剣に取り組むことを約束しました。

最後に2学期の行事についてお知らせしました。そして、「何よりもみんなの心身の健康が大切なので悩み事や不安なことは、家族や先生方SCなど身近な人に話してほしい」と、伝えました。

## 旭市子ども議会

7月26日に旭市子ども議会が開催され、6年生の高橋 篤人さんが子ども議員として参加しました。

篤人さんは「旭市の小中学校の再編について」というテーマで、意見を述べました。「自分たちの母校が将来どうなるのかとても気になる。自分たち子どもも直接再編についての説明を聞きたい。」「少子化や人口減少に対して、全国的に様々な取組が行われている中、旭市は少子化問題に対してどのような対策を検討しているのか知りたい。」という内容の質問を議場で堂々と発表することができました。篤人さんの質問に対しては、担当課長様から丁寧にご回答いただきました。

市内の代表児童生徒から、環境問題やAIの活用、通学路の安全や観光産業のPR等、様々な質問事項が提案されました。ふるさと旭をよりよくするために自分の考えをしっかりと述べる姿に頼もしさを感じました。



## 旭市PTAバレーボール大会

8月25日、旭市総合体育館にて旭市PTAバレーボール大会が開催され、矢指小がブロック優勝という素晴らしい成績を収めました。1回戦は、嚶鳴小に1セット先取されてからの逆転勝利、2回戦は、大規模校である旭第二中に勝利することができました。その結果、10月6日に開催される東総PTAバレーボール大会に旭市代表として参加することになりました。

これまで、PTA役員の皆様や地域の皆様にご協力をいただき、6月から週2回の練習に取り組み、練習に励んできました。選手のお母様方のチームワークがとてもよく、大会当日はピンチの場面でも、励まし合って乗り越えることができました。

東総大会でも、チームワークのよさを武器にボールをつなぎ、県大会出場を目指して、頑張りたいと思います。PTA会員相互の親睦を深め、生涯にわたってスポーツを楽しみ、健康の増進を図る姿は、子ども達にもスポーツの素晴らしさを伝えるきっかけになることでしょう。矢指小PTAバレーボールチームの健闘を心より願っております。役員の皆様、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。



## 校長コラム：「家読（うちどく）」に気合いを入れていたあの頃

我が子には、こんな子に育ってほしい・・・親として、いろいろな思いを我が子に託したくなります。私は、三人の子どもを育てているとき、「本を好きになって、豊かな心を育ててほしい」という願いをもっていました。しかし、毎日仕事に追われ、布団に入って読み聞かせをしても子どもより早く寝入ってしまう日々でした。

そこで、頼ったのが旭市の市民図書館です。2週間に一度子どもと一緒に通い、読み聞かせをすることを自分に課すと共に一人5冊、家に持ち帰る本を選ばせました。3人で合計15冊お借りし、読んでも読まなくても、リビングに本を置いて子ども達の目に触れるように心がけました。読まないのなら表紙だけでも目にとめて記憶に残し、いつか読んでほしいと願っていました。

中学に入ると部活動が忙しく、頻繁に図書館に通えなくなりましたが、小さい頃から通い慣れた図書館が大好きで、受験期は図書館で学習することが習慣となりました。

子育ては、親の願い通りにはいかないことばかりでした。しかし、旭市の図書館のおかげで、本が大好きになってくれました。現在、3人とも独立をしています。実家に帰ってくる時には必ず本を持って帰ってきます。3人で今、読んでいる本の感想を話したり、兄妹が読んでいる本を手にとってみたり・・・心豊かに育ったのかはわかりませんが、本から学んでいることは、計り知れないようです。